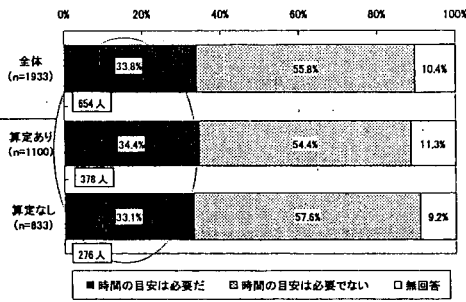
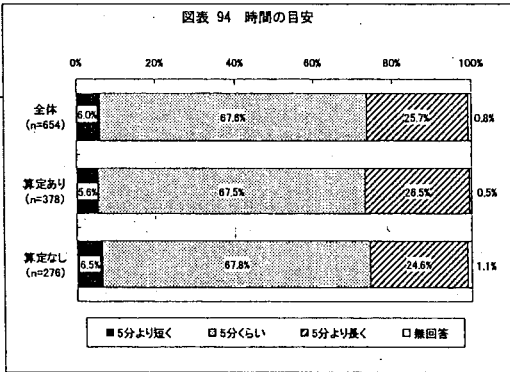


図表 93 外来管理加算の時間の目安についての考え



図表 94 時間の目安



「外来管理加算の時間の目安についての考え」別に平均診察時間をみると、「目安は必要だ」と回答した外来管理加算「算定あり」の患者の平均は11.08分、「算定なし」の患者の平均は8.68分であった。「目安は必要ではない」と回答した外来管理加算「算定あり」の患者の平均は10.04分、「算定なし」の患者の平均は8.47分であった。「算定あり」、「算定なし」の患者ともに「目安は必要ではない」と回答した患者よりも「目安は必要だ」と回答した患者の平均診察時間の方がそれぞれ1.04分、0.21分長かった。

図表 95 「外来管理加算の時間の目安についての考え」別平均診察時間

	全体		算定あり		算定なし	
	患者数	平均診察時間(分)	患者数	平均診察時間(分)	患者数	平均診察時間(分)
合計	1270	9.86	765	10.55	505	8.82
目安は必要だ	472	10.16	291	11.08	181	8.68
目安は必要ではない	671	9.38	389	10.04	282	8.47
無回答	127	11.27	85	11.01	42	11.79

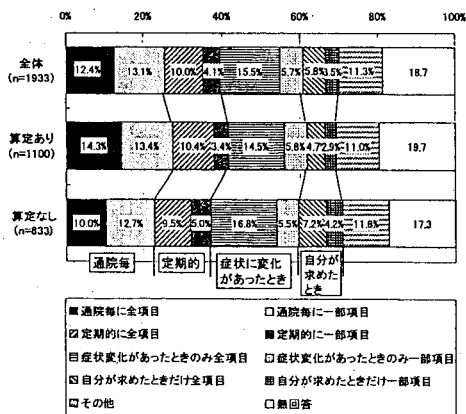
「懇切丁寧な説明」についての要望をみると、全体では、「症状に変化があったときのみ全項目」(15.5%)が最も多く、次いで「通院毎に一部項目」(13.1%)、「通院毎に全項目」(12.4%)、「定期的に全項目」(10.0%)となった。

外来管理加算の算定別にみると、「算定あり」の患者では、「症状に変化があったときのみ全項目」(14.5%)が最も多く、次いで「通院毎に全項目」(14.3%)、「通院毎に一部項目」(13.4%)であった。

「算定なし」の患者では、「症状に変化があったときのみ全項目」(16.8%)が最も多く、次いで「通院毎に一部項目」(12.7%)、「通院毎に全項目」(10.0%)であった。

全項目と一部項目を合わせた「懇切丁寧な説明」についての要望を外来管理加算の算定別に比べると、「算定あり」の患者では「通院毎」の割合が「算定なし」の患者より高くなり、「算定なし」の患者では「症状に変化があったとき」と「自分が求めたとき」の割合が「算定あり」の患者より高くなった。

図表 96 「懇切丁寧な説明」についての要望



(注)「その他」の内容として、「医師の判断に任せている」等の回答があげられた。

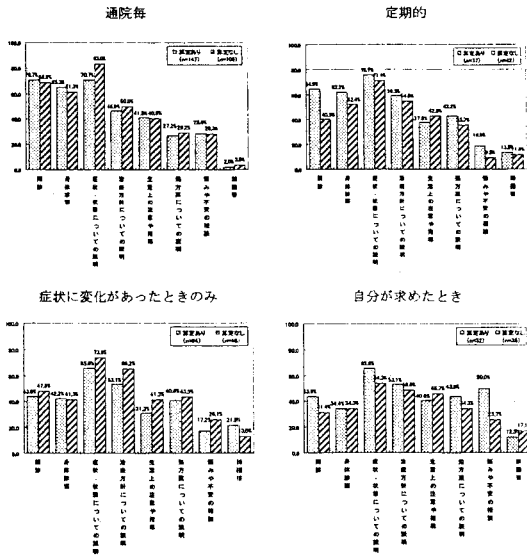
「実施してほしい一部項目の内容」について外来管理加算の算定の有無別にみると、「通院毎」では、「症状・状態についての説明」(それぞれ70.7%、83.0%)が最も多く、「算定あり」の患者と比較して「算定なし」の患者の方が高い割合であった。

「定期的」についてみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「症状・状態についての説明」(それぞれ75.7%、71.4%)が最も多かった。次いで、「算定あり」の患者では「問診」(64.9%)、「身体診察」(62.2%)と続き、「算定なし」の患者では「治療方針についての説明」(54.8%)、「身体診察」(52.4%)、「生活上の注意や指導」(42.9%)であった。

「病状に変化があったときのみ」についてみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「症状・状態についての説明」(それぞれ65.6%、73.9%)が最も多く、次いで「治療方針についての説明」(それぞれ53.1%、65.2%)であり、「算定あり」の患者と「算定なし」の患者を比較すると、「算定なし」の患者の方が高い割合であった。

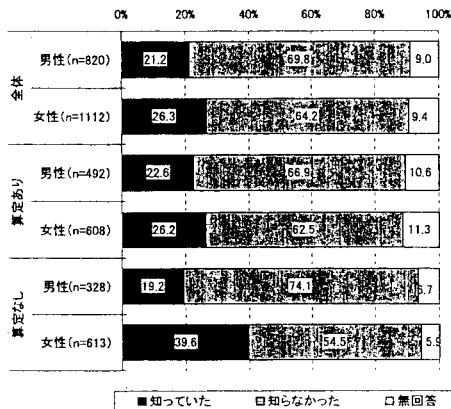
「自分が求めたとき」についてみると、「算定あり」の患者では、「症状・状態についての説明」(65.6%)が最も多く、次いで「治療方針についての説明」(53.1%)、「悩みや不安の相談」(50.0%)であった。「算定なし」の患者では、「症状・状態についての説明」(54.3%)が最も多く、次いで「治療方針についての説明」(48.6%)、「生活上の注意や指導」(45.7%)であった。

図表 97 実施してほしい一部項目の内容



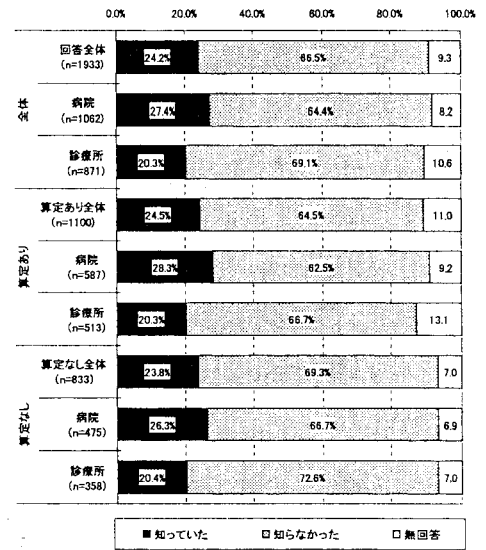
外来管理加算の認知度を男女別にみると、「知っていた」と回答した患者は、全体の男性では21.2%、女性では26.3%であった。同様に、「算定あり」、「算定なし」の患者ともに女の方が男性より認知度が高く、「算定なし」の女性の認知度が最も高かった。

図表 99 算定別・男女別における外来管理加算の認知度



外来管理加算の認知度についてみると、全体では、「知っていた」が24.2%、「知らなかった」が66.5%であり、6割以上の人が「知らなかった」と回答した。これは、外来管理加算の「算定あり」の患者と「算定なし」の患者でも同様の傾向であった。

図表 98 外来管理加算の認知度

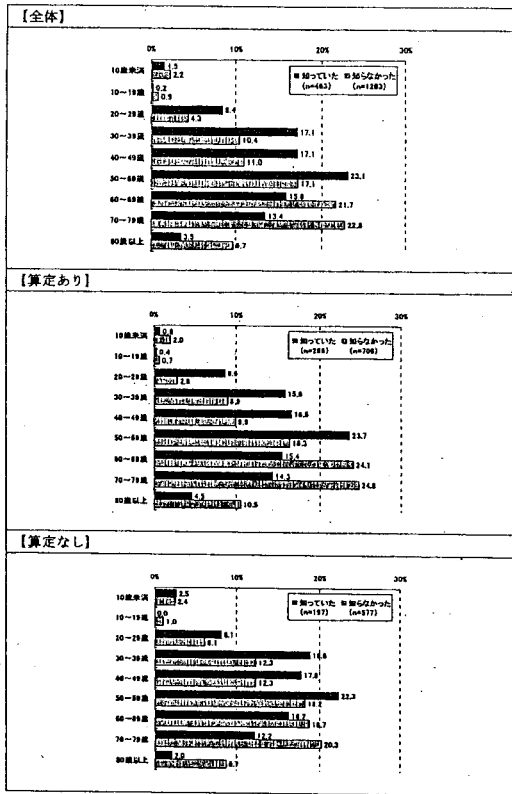


外来管理加算の算定別における認知度の年齢分布についてみると、「算定あり」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者は、「50～59歳」(23.7%)が最も多く、次いで「40～49歳」(16.5%)、「30～39歳」(15.8%)であった。「知らなかった」と回答した患者は、「70～79歳」(24.8%)が最も多く、次いで「60～69歳」(24.1%)、「50～59歳」(16.3%)であった。

「算定なし」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者は、「50～59歳」(22.3%)が最も多く、次いで「30～39歳」(18.8%)、「40～49歳」(17.8%)であった。「知らなかった」と回答した患者は、「70～79歳」(20.3%)が最も多く、次いで、「60～69歳」(18.7%)、「50～59歳」(18.2%)であった。

「算定あり」、「算定なし」の患者ともに年齢層が高いほど外来管理加算の認知度が低くなり、30代、40代、50代では認知度が高くなった。

図表 100 外来管理加算の算定別における認知度の年齢分布

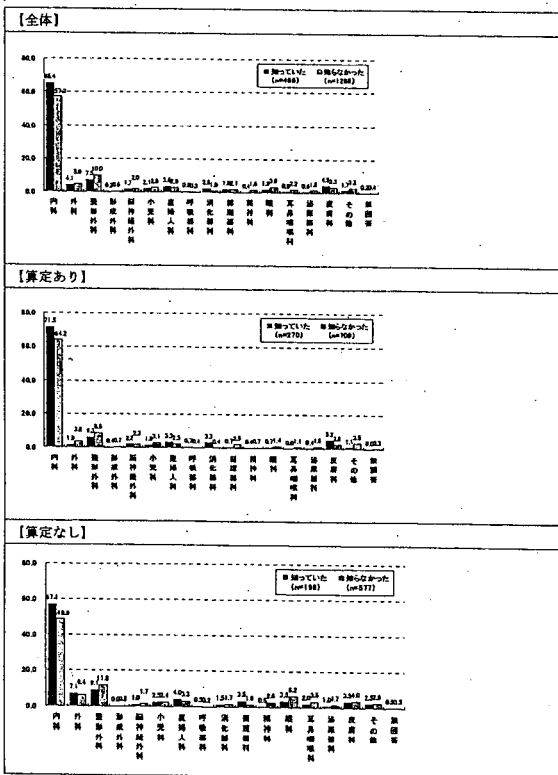


外来管理加算の認知度別に受診した診療科をみると、全体では、外来管理加算を「知っていた」患者においては、「内科」(65.4%)が最も多く、次いで「整形外科」(7.5%)、「皮膚科」(4.5%)、「外科」(4.1%)であった。外来管理加算を「知らなかった」患者においては、「内科」(57.3%)が最も多く、次いで「整形外科」(10.0%)、「外科」(5.0%)であった。

外来管理加算の算定があり、外来管理加算を「知っていた」患者では、「内科」(71.5%)が最も多く、次いで「整形外科」(6.3%)、「皮膚科」(5.2%)、「消化器科」(3.3%)、「産婦人科」(3.3%)であった。同様に外来管理加算を「知らなかった」患者では、「内科」(64.2%)が最も多く、次いで「整形外科」(8.6%)、「外科」(3.8%)であった。

外来管理加算の算定がなく、外来管理加算を「知っていた」患者では、「内科」(57.1%)が最も多く、次いで「整形外科」(9.1%)、「外科」(7.1%)、「産婦人科」(4.0%)であった。同様に外来管理加算を「知らなかった」患者では、「内科」(48.9%)が最も多く、次いで「整形外科」(11.8%)、「外科」(6.4%)、「眼科」(6.2%)であった。

図表 101 外来管理加算の認知度別受診した診療科



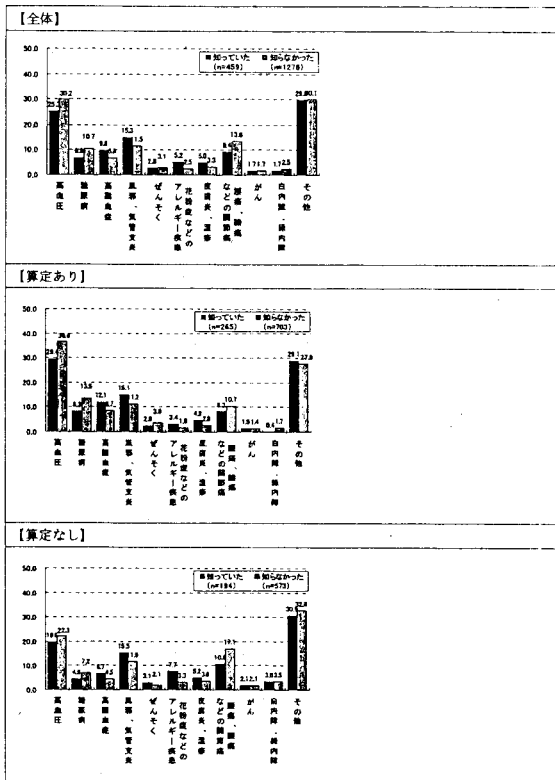
外来管理加算の認知度別に受診した傷病についてみると全体では、外来管理加算を「知っていた」患者においては、「高血圧」(25.3%)が最も多く、次いで「風邪、気管支炎」(15.3%)、「高脂血症」(9.8%)、「腰痛、膝痛などの関節痛」(9.4%)、「糖尿病」(6.8%)であった。

外来管理加算を「知らなかった」患者においては、「高血圧」(30.2%)が最も多く、「腰痛、膝痛などの関節痛」(13.6%)、「風邪・気管支炎」(11.5%)、「糖尿病」(10.7%)であった。

外来管理加算の算定があり、外来管理加算を「知っていた」患者においては、「高血圧」(29.4%)が最も多く、次いで「風邪、気管支炎」(15.1%)、「高脂血症」(12.1%)であった。外来管理加算を「知らなかった」患者においては、「高血圧」(36.6%)が最も多く、次いで「糖尿病」(13.5%)、「風邪、気管支炎」(11.2%)であった。

外来管理加算の算定がなく、外来管理加算を「知っていた」患者においては、「高血圧」(19.6%)が最も多く、次いで「風邪、気管支炎」(15.5%)、「腰痛、膝痛などの関節痛」(10.8%)、「花粉症などのアレルギー疾患」(7.7%)であった。外来管理加算を「知らなかった」患者においては、「高血圧」(22.3%)が最も多く、次いで「腰痛、膝痛などの関節痛」(17.1%)、「風邪・気管支炎」(11.9%)、「糖尿病」(7.2%)であった。

図表 102 外来管理加算の認知別受診した病名



6. まとめ

本調査より明らかとなった点は、以下のとおりである。

(1) 病院調査・診療所調査

- 平成 20 年 10 月 1 か月間における外来管理加算算定割合（再診患者延べ人数に占める外来管理加算を算定した患者の割合）の平均値は、病院が 41.1%、一般診療所が 41.0% であった。
- 病院における外来管理加算算定割合の高い診療科は、呼吸器科（75.8%）、循環器科（61.6%）、消化器科（59.0%）、内科（55.3%）、小児科（53.0%）、脳神経外科（52.1%）であった。一方、外来管理加算算定割合の低い診療科は、眼科（2.1%）、精神科（6.2%）、耳鼻咽喉科（15.0%）であった。
- 一般診療所については、「主たる診療科」別に外来管理加算算定割合を算出したが、施設数が 20 を超えた診療科に限定してみると、外来管理加算算定割合が高かった診療科は、内科（65.3%）、小児科（50.8%）であった。一方、外来管理加算算定割合の低い診療科は、耳鼻咽喉科（2.1%）、眼科（2.7%）であった。
- 平成 20 年 10 月未現在、外来管理加算を算定している医療機関は、病院が 96.5%、一般診療所が 87.9% であった。平成 20 年 4 月の「外来管理加算の意義付けの見直し」以降に外来管理加算の算定をやめた医療機関は、病院では 1.4%（7 施設）、一般診療所では 8.5%（50 施設）で、一般診療所における割合が病院よりもやや高い結果となった。平成 20 年 4 月以降に外来管理加算の算定をやめた一般診療所の主たる診療科別内訳が多いものを挙げると、眼科（58.0%）、耳鼻咽喉科（22.0%）であった。
- 外来管理加算を算定した患者に対して必ず行っている診療内容としては、問診（病院の 91.7%、一般診療所の 89.7%）、症状・状態についての説明（病院の 88.7%、一般診療所の 90.7%）、身体診察（病院の 82.3%、一般診療所の 81.7%）といった項目で回答割合が 8 割を超えた。その他、一般診療所では生活上の注意や指導（一般診療所の 82.3%）が 8 割を超えた。悩みや不安・疑問への対応、治療方針についての説明、処方箋についての説明といった項目を挙げた割合は病院では 7 割を、一般診療所では 8 割を割った。
- 外来管理加算を算定した患者 1 人あたりの平均診察時間は、病院では 7.3 分（標準偏差 3.1、中央値 6.0）、一般診療所では 7.5 分（標準偏差 3.8、中央値 6.0）であった。
- 外来管理加算の意義付けの見直しによる影響として、「より詳細に身体診察等を行うようになった」、「患者に説明をよりわかりやすく、丁寧に行うようになった」、「症状や説明内容に対する患者の理解度が高まった」、「患者 1 人あたりの診察時間が長くなった」、「診察時間の延長が多くなった」、「患者の待ち時間が長くなった」といった内容について、「大いにはまると」と「あてはまる」を合わせた回答割合は、一般診療所よりも病院で高い結果となった。
- 望ましい「懇切丁寧な説明」については、病院・一般診療所ともに「毎回実施すべき」という回答は 15.4% であった。最も回答が多かったのは「項目毎に異なる頻度で

⑥ 外来管理加算についての意見<自由記述式>

外来管理加算についての患者からの主な意見は次のとおりであった。

- 生活上の健康管理面での注意、指導面のきめ細かい話は非常に役立っている。
  - パソコンを使用して、体調面の変化や薬の副作用等に関する丁寧な説明を受け、安心が保てる。
  - 病気によっては、説明に時間をかけてほしい。
  - 外来管理加算＝医師の懇切丁寧な説明、であれば患者として求めている大切なことなので必要だが、わざわざ位置づけないと行わないのはおかしい。
  - 時間も大切かもしれないが、ただ長いよりも短くてもきばきとしてくれる方が助かる。／要点だけを手短かに説明してほしい。
  - 待ち時間が短い方がよい。／待ち時間が長すぎる。
  - 5 分は長いと思う。症状が安定して変わらなければ 2～3 分で済むところ、毎回 5 分かけては長い。
  - 時間で決めるのは無理がある。／時間よりも質や内容が大事。／時間を目安にするのはあまりに機械的で納得できない。
- など

- 実施するべき」という回答（病院の 42.6%、一般診療所の 49.6%）であった。その内訳については、「毎回実施すべき項目」としては、「問診」、「身体診察」が、「患者が懇切丁寧な説明を求めた時に実施するべき項目」としては、「悩みや不安・疑問への対応」が、また「医師が必要と判断した時に実施するべき項目」としては、「症状・状態についての説明」、「治療方針についての説明」、「生活上の注意や指導」、「処方箋についての説明」といった項目の回答割合が高い結果となった。
- (2) 患者調査
  - 外来管理加算を算定した患者（以下、「算定あり」とする）1,100 人の性別は、男性が 44.7%、女性が 55.3% であった。また、外来管理加算を算定しなかった患者（以下、「算定なし」とする）833 人の内訳は、男性が 39.4%、女性が 60.5% であった。
  - 「算定あり」の患者の平均年齢は 58.5 歳（標準偏差 17.9、中央値 61.0）、「算定なし」の患者の平均年齢は 54.9 歳（標準偏差 18.9、中央値 57.0）であった。
  - 「算定あり」の患者の傷病は、高血圧（34.8%）が最も多く、次いで、糖尿病（12.3%）、風邪・気管支炎（11.7%）、腰痛・膝痛などの関節痛（9.9%）となった。「算定なし」の患者の傷病は、「算定あり」と同様に、高血圧（21.5%）が最も多かった。次いで、腰痛・膝痛などの関節痛（15.2%）、風邪・気管支炎（12.8%）、糖尿病（6.6%）であった。
  - 患者が受診した診療科については、「算定あり」の患者では、内科（65.5%）が最も多く、次いで、整形外科（8.1%）となった。「算定なし」の患者では、内科（50.7%）が最も多く、次いで整形外科（11.3%）、外科（6.1%）、眼科（5.4%）となった。
  - 通院頻度については、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「1 か月に 1 回程度」（「算定あり」43.6%、「算定なし」31.5%）が最も多く、次いで、「2 週間に 1 回程度」（「算定あり」22.6%、「算定なし」19.6%）となった。
  - 通院期間については、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「1 年以上」（「算定あり」63.0%、「算定なし」53.9%）が最も多く、次いで「6 か月以上 1 年未満」（「算定あり」12.4%、「算定なし」11.8%）となった。
  - 調査日に診察を受けた時間については、「算定あり」の患者では平均 10.5 分（標準偏差 9.5、中央値 10.0）、「算定なし」の患者では平均 8.8 分（標準偏差 6.9、中央値 6.0）であった。
  - 医師から受けた診察の内容としては、問診（「算定あり」82.4%、「算定なし」76.5%）、症状・状態についての説明（「算定あり」76.6%、「算定なし」69.0%）、身体診察（「算定あり」71.2%、「算定なし」61.9%）の割合が高かった。一方、治療方針についての説明、生活上の注意や指導、処方箋についての説明などは、「算定あり」、「算定なし」ともに 4 割強から 6 割弱となった。また、悩みや不安・相談への対応は、「算定あり」が 25.1%、「算定なし」が 20.2% で最も低かった。いずれの項目も、「算定あり」の患者の方が「算定なし」の患者に比べて、「受けた」という回答割合が高かった。
  - 診察に対する満足度について「とても満足している」という回答割合をみると、「算

- 定あり」の患者では23.9%、「算定なし」の患者では18.7%となっており、「算定あり」の患者で5.2ポイント高い結果となった。特に病院を受診した患者と比較すると、「算定あり」が24.9%、「算定なし」が15.4%となり、9.5ポイントの差があった。
- 診察時間の長さについては、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに、「ちょうどよい」が大半を占めた（「算定あり」85.6%、「算定なし」87.0%）。
- 診察時間の長さについて「長すぎる」「長い」あるいは「ちょうどよい」と回答した患者では、「短い」「短すぎる」と回答した患者と比べて、外来管理加算の算定の有無にかかわらず、診察内容について「とても満足している」「満足している」と回答した割合が高かった。
- 医師の問診や身体診察の丁寧さについて、「とても丁寧だった」という回答割合は、「算定あり」の患者では24.4%、「算定なし」の患者では20.4%であり、「算定あり」の患者で4ポイント高い結果となった。
- 医師の説明内容の丁寧さについて、「とても丁寧だった」という回答割合は、「算定あり」の患者では21.1%、「算定なし」の患者では17.4%であった。
- 医師の説明内容についての理解度について、「十分に理解できた」という回答割合は、「算定あり」の患者では39.8%、「算定なし」の患者では37.3%であった。
- 外来管理加算の時間の目安について、「時間の目安が必要だ」という回答割合は、「算定あり」の患者では34.4%、「算定なし」の患者では33.1%であった。一方、「時間の目安は必要でない」という回答割合は、「算定あり」の患者では54.4%、「算定なし」の患者では57.6%であり、いずれの場合も「時間の目安は必要でない」という回答の方が多かった。
- 外来管理加算の「時間の目安が必要だ」と回答した患者に、その目安を尋ねた結果、最も多かったのは「5分くらい」（「算定あり」67.5%、「算定なし」67.8%）であった。次に多かったのは「5分より長く」（「算定あり」26.5%、「算定なし」24.6%）であり、「5分より短く」（「算定あり」5.6%、「算定なし」6.5%）は1割に満たなかった。

参考資料

厚生労働省保険局医療課委託事業「平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」  
外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査 施設票

※以下のラベルに、電話番号、ご回答者のお名前をご記入ください。また、施設名、所在地をご確認の上、記載内容に不備がございましたら、赤書きで修正してください。ご記入頂いた電話番号、お名前は、本調査の調査に使用するためのものであり、それ以外の目的のために使用することはございません。また、適切に保管・管理・処理いたしますので、ご記入くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

施設名	
施設の所在地	
電話番号	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
ご回答者名	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

※本調査票は、施設の管理者の方と医師の方とでご届題の上、ご記入ください。ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。  
※( )内には具体的な数値、用字等をご記入ください。( )内に入らぬ数値がない場合には「0(ゼロ)」を、算出できないまたは不明の場合は「-」をご記入ください。  
※調査時点は平成20年10月末あるいは質問に指定されている期間とします。

1. 貴施設の状況(平成20年10月末現在)についてお伺いします。

①開設者	1. 国立 2. 公立 3. 公的 4. 社会保険関係団体 5. 医療法人 6. 個人 7. 学校法人 8. その他の法人							
②許可病床数	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計		
	床	床	床	床	床	床	床	
③職員数(常勤換算)	医師	歯科医師	薬剤師	看護職員	その他	計		
	人	人	人	人	人	人	人	
④外来担当医師数(常勤換算)	( )人							
<small>常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は小数点以下第1位までお書きください。 ■ 1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間) ■ 1か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1か月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)</small>								

2. 外来診療の状況(平成20年10月末現在)についてお伺いします。

①外来診療を行っている診療科 ※あてはまるものすべてに○	1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 形成外科
	5. 脳神経外科	6. 小児科	7. 産婦人科	8. 呼吸器科
②上記①のうち主たる診療科 ※○は1つだけ	9. 消化器科	10. 循環器科	11. 精神科	12. 眼科
	13. 耳鼻咽喉科	14. 泌尿器科	15. 皮膚科	
	16. その他(具体的に)			
	1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 形成外科
	5. 脳神経外科	6. 小児科	7. 産婦人科	8. 呼吸器科
	9. 消化器科	10. 循環器科	11. 精神科	12. 眼科
13. 耳鼻咽喉科	14. 泌尿器科	15. 皮膚科		
16. その他(具体的に)				

③ 上記②で選んだ診療科(主たる診療科)の表示している診療時間を24時間表記(例:午後3時は「15:00」)でご記入ください。

月曜日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )
火曜日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )
水曜日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )
木曜日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )
金曜日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )
土曜日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )
日曜日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )
祝祭日	1. 診療している	→ ( ):( ) ~ ( ):( )
	2. 診療していない	( ):( ) ~ ( ):( ) ( ):( ) ~ ( ):( )

④ 平成20年10月の1か月間における「外来診療患者延べ人数」、「外来管理加算算定回数」等について、それぞれ( )内に数値をご記入ください。

	(1)すべての外来診療患者延べ人数(2)+(3)			(4)外来管理加算算定回数
	(2)初診患者数	(3)再診患者延べ人数		
1)合計	( )人	( )人	( )人	( )回
2)内科	( )人	( )人	( )人	( )回
3)外科	( )人	( )人	( )人	( )回
4)整形外科	( )人	( )人	( )人	( )回
5)形成外科	( )人	( )人	( )人	( )回
6)脳神経外科	( )人	( )人	( )人	( )回
7)小児科	( )人	( )人	( )人	( )回
8)産婦人科	( )人	( )人	( )人	( )回
9)呼吸器科	( )人	( )人	( )人	( )回
10)消化器科	( )人	( )人	( )人	( )回
11)循環器科	( )人	( )人	( )人	( )回
12)精神科	( )人	( )人	( )人	( )回
13)眼科	( )人	( )人	( )人	( )回
14)耳鼻咽喉科	( )人	( )人	( )人	( )回
15)泌尿器科	( )人	( )人	( )人	( )回
16)皮膚科	( )人	( )人	( )人	( )回
17)その他( )科	( )人	( )人	( )人	( )回
( )科	( )人	( )人	( )人	( )回
( )科	( )人	( )人	( )人	( )回
( )科	( )人	( )人	( )人	( )回

3. 外来管理加算の算定状況等(平成20年10月末現在)についてお伺いします。

①「外来管理加算」の算定をしていますか。  
※○は1つだけ。「2. 現在は算定していない」場合は、算定をやめた理由をご記入ください。「3. 算定している」場合は、算定開始時期をお選びください。

1. 平成20年3月以前から算定したことがない → 7ページ4. ④へお進みください  
2. 平成20年3月以前は算定していたが、現在は算定していない  
→ 算定をやめた理由 ( )  
→ 7ページ4. ④へお進みください  
3. 算定している → (1. 平成20年3月以前から 2. 平成20年4月以降から)  
→ 一次の質問②へお進みください

②外来管理加算を算定した患者全員に対して必ず行っている診療内容に於てはまるのは、次のうちどれですか。※あてはまる番号すべてに○

1. 問診 2. 身体診察(視診、聴診、打診及び触診等)  
3. 症状・状態についての説明 4. 今後の治療方針についての説明  
5. 生活上の注意や指導 6. 処方する薬についての説明  
7. 患者の悩みや不安・疑問への対応、 8. その他(具体的に )

③外来管理加算を算定している患者1人当たりの診療を行っている時間\*はどのくらいですか。  
※おおよその時間で結構です。具体的に数字を記入してください。 約( )分  
\*「診療を行っている時間」とは患者が診療室に入室した時点を診療開始時間、退室した時点を診療終了時間とし、その間一貫して医師が患者に対して問診、身体診察、療養上の指導を行っている場合の時間を指します。

4. 平成20年4月の診療報酬改定では、以下のように、外来管理加算の意義付けの見直しが行われました。

■外来管理加算の意義付けの見直しの内容■  
平成20年4月の診療報酬改定では、「外来管理加算を見直し、外来で継続的な治療管理を要する患者に対し、医師が患者の療養上の疑問に答え、疾病・病状や療養上の注意等に係る説明を懇切丁寧に行うなどの、療養継続に向けた医師の取組への評価とする」として、外来管理加算の意義付けの見直しが行われました。また、外来管理加算について懇切丁寧な説明を行うこととして概ね5分とする目安が要件とされました。

以下では、この外来管理加算の意義付けの見直しによる影響についてお伺いします。

①外来管理加算の意義付けの見直しによって、貴院ではどのような変化がありましたか。  
※「大いにはまる」を「5」、「全くあてはまらない」を「1」として5段階で評価し、該当の番号にそれぞれ○をつけてください。

	大いにはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1)より詳細に身体診察等を行うようになった	5	4	3	2	1
2)患者に説明をよりわかりやすく、丁寧に行うようになった	5	4	3	2	1
3)症状や説明内容に対する患者の理解度が高まった	5	4	3	2	1
4)患者の疑問や不安を汲み取るようになった	5	4	3	2	1
5)患者1人当たりの診療時間が長くなった	5	4	3	2	1
6)診療時間の延長が多くなった	5	4	3	2	1
7)患者の待ち時間が長くなった	5	4	3	2	1
8)自己負担が高くなるため、5分以内の診療を求める患者が増えた	5	4	3	2	1
9) その他(具体的に )	5	4	3	2	1

②上記①以外に、外来管理加算の意義付けの見直しによる経営上(収入面等)の変化があれば、具体的に書きください。

--

③ 外来管理加算の意義付けの見直しにより、外来管理加算を算定するためには、患者に対して「懇切丁寧な説明」を行うこと、それは概ね5分を超えることが算定要件となりましたが、「懇切丁寧な説明」としてどうあるのがよいと思いますか。※貴方のお考えに最も近いものを1つだけ○をつけてください。

<懇切丁寧な説明の項目>

a. 問診 b. 身体診察(視診、聴診、打診及び触診等)  
c. 症状・状態についての説明 d. 今後の治療方針についての説明  
e. 生活上の注意や指導 f. 処方する薬についての説明  
g. 患者の悩みや不安・疑問への対応

1. すべての項目について、診療の都度、毎回実施するべきである → 質問④へお進みください  
2. すべての項目について、診療の都度ではなく数か月に1回など、定期的を実施するべきである → 質問④へお進みください  
3. 患者が懇切丁寧な説明を求めた時に、すべての項目について実施するべきである → 質問④へお進みください  
4. 項目毎に異なる頻度で実施するべきである → 質問③-1へお進みください

③-1 上記③で選択肢「4. 項目毎に異なる頻度で実施するべきである」を選択した方にお伺いします。下記1)~4)について、実施するべき項目に於てはまるもの全てのアルファベット(a~g)に○をつけてください。また、「その他」として実施するべき内容があれば、具体的に記入してください。

	問診	打診及び触診等	身体診察(視診、聴診、説明・状態についての説明)	症状・状態についての説明	今後の治療方針についての説明	生活上の注意や指導	処方する薬についての説明	患者の悩みや不安・疑問への対応	その他(具体的に書き)
1) 毎回実施するべき項目	a	b	c	d	e	f	g		
2) 数か月に1回など、定期的 に実施するべき項目	a	b	c	d	e	f	g		
3) 患者が懇切丁寧な説明を 求めた時に実施するべき 項目	a	b	c	d	e	f	g		
4) 患者の状態の変化等により、 医師が必要と判断した時に 実施するべき項目	a	b	c	d	e	f	g		

→ 質問④へお進みください

④「外来管理加算」について課題等がございましたら、自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

④上記②で選んだ診療科(主たる診療科)の表示している診療時間を24時間表記(例、午後3時は「15:00」)でご記入ください。

月曜日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )
火曜日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )
水曜日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )
木曜日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )
金曜日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )
土曜日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )
日曜日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )
祝祭日	1. 診療している 2. 診療していない	( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( ) ( ): ( ) ~ ( ): ( )

④平成20年10月1か月間における各項目の実績についてご記入ください。

1) 外来担当医師数(常勤換算) ※小数点以下第1位まで	( ) 人
2) 外来診療実日数(例、半日診療の場合は「0.5」) ※小数点以下第1位まで	( ) 日
3) 医師全員の合計診療時間 ※小数点以下第2位まで	( ) 時間
4) すべての外来患者延べ人数 (下記5)+6)	( ) 人
5) 4)のうち初診患者数	( ) 人
6) 4)のうち再診患者延べ人数	( ) 人
7) 外来管理加算の算定回数	( ) 回

厚生労働省保険局医療課委託事業「平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」  
外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査 施設票

※以下のラベルに、電話番号、ご回答者のお名前をご記入ください。また、施設名、所在地をご確認の上、記載内容に不備がございましたら、赤書きで修正してください。ご記入頂いた電話番号、お名前は、本調査の照会で使用するためのものであり、それ以外の目的のために使用することはありません。また、適切に保管・管理・処理いたしますので、ご記入くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

施設名	
施設の所在地	
電話番号	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
ご回答者名	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

※本調査票は、施設の管理者の方と医師の方とでご相談の上、ご記入ください。ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。  
※( )内には具体的な数値、用字等をご記入ください。( )内に入る数値がない場合は「0(ゼロ)」を、算出できないまたは不明の場合は「-」をご記入ください。  
※調査時点は平成20年10月末あるいは質問に指定されている期間とします。

1. 貴施設の状況(平成20年10月末現在)についてお伺いします。

①開設者	1. 国立 2. 公立 3. 公的 4. 社会保険関係団体 5. 医療法人 6. 個人 7. 学校法人 8. その他の法人
②種別 ※○は1つだけ	1. 無床診療所 2. 有床診療所 → 許可病床数 ( ) 床
③職員数(常勤換算)	医師 ( ) 人 歯科医師 ( ) 人 薬剤師 ( ) 人 看護職員 ( ) 人 その他 ( ) 人 計 ( ) 人

常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は小数点以下第1位までお書きください。  
■ 1週間に複数勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)  
■ 1か月に複数勤務の場合：(非常勤職員の1か月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間 × 4)

2. 外来診療の状況(平成20年10月末現在)についてお伺いします。

①外来診療を行っている診療科 ※あてはまるものすべてに○	1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 形成外科 5. 脳神経外科 6. 小児科 7. 産婦人科 8. 呼吸器科 9. 消化器科 10. 循環器科 11. 精神科 12. 眼科 13. 耳鼻咽喉科 14. 泌尿器科 15. 皮膚科 16. その他(具体的に ( ))
②①のうち主たる診療科 ※○は1つだけ	1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 形成外科 5. 脳神経外科 6. 小児科 7. 産婦人科 8. 呼吸器科 9. 消化器科 10. 循環器科 11. 精神科 12. 眼科 13. 耳鼻咽喉科 14. 泌尿器科 15. 皮膚科 16. その他(具体的に ( ))

3. 外来管理加算の算定状況等(平成20年10月末現在)についてお伺いします。

①「外来管理加算」の算定をしていますか。  
※○は1つだけ。「2. 現在は算定していない場合は、算定をやめた理由をご記入ください。」「3. 算定していない」場合は、算定開始時期をお選びください。

1. 平成20年3月以前から算定したことがない → 6ページ4.④へお進みください  
2. 平成20年3月以前は算定していたが、現在は算定していない  
→ 算定をやめた理由 ( )  
→ 6ページ4.④へお進みください  
3. 算定している → (1. 平成20年3月以前から 2. 平成20年4月以降から)  
→ 次の質問②へお進みください

②外来管理加算を算定した患者全員に対して必ず行っている診療内容にあてはまるのは、次のうちどれですか。  
※あてはまる番号すべてに○

1. 問診  
2. 身体診察(視診、聴診、打診及び触診等)  
3. 症状・状態についての説明  
4. 今後の治療方針についての説明  
5. 生活上の注意や指導  
6. 処方する薬についての説明  
7. 患者の悩みや不安・疑問への対応  
8. その他(具体的に ( ))

③外来管理加算を算定している患者1人当たりの診察を行っている時間はどのくらいですか。  
※おおよその時間で結構です。具体的に数字を記入してください。 約 ( ) 分

\*「診察を行っている時間」とは  
患者が診察室に入室した時点を診察開始時間、退室した時点を診察終了時間とし、その間一貫して医師が患者に対して問診、身体診察、療養上の指導を行っている場合の時間を指します。

4. 平成20年4月の診療報酬改定では、以下のように、外来管理加算の意義付けの見直しが行われました。

■外来管理加算の意義付けの見直しの内容■  
平成20年4月の診療報酬改定では、「外来管理加算を見直し、外来で継続的な治療管理を要する患者に対し、医師が患者の療養上の疑問に答え、疾病・病状や療養上の注意等に係る説明を懇切丁寧に行うなどの、療養継続に向けた医師の取組への評価とする」として、外来管理加算の意義付けの見直しが行われました。また、外来管理加算について懇切丁寧な説明を行うこととして概ね5分とする目安が要件とされました。

以下では、この外来管理加算の意義付けの見直しによる影響についてお伺いします。

① 外来管理加算の意義付けの見直しによって、貴院ではどのような変化がありましたか。  
 ※「大いであてはまる」を「5」、「全くあてはまらない」を「1」として5段階で評価し、該当の番号にそれぞれ○を1つだけつけてください。

	大い あては まる	やや あては まる	どちら ともい えない	あまり あては まらない	全く あては まらない
1) より詳細に身体診察等を行うようになった	5	4	3	2	1
2) 患者に説明をよりわかりやすく、丁寧に行うようになった	5	4	3	2	1
3) 症状や説明内容に対する患者の理解度が高まった	5	4	3	2	1
4) 患者の疑問や不安を以前より汲み取るようになった	5	4	3	2	1
5) 患者1人当たりの診療時間が長くなった	5	4	3	2	1
6) 診療時間の延長が多くなった	5	4	3	2	1
7) 患者の待ち時間が長くなった	5	4	3	2	1
8) 自己負担が高くなるため、5分以内の診療を求める患者が増えた	5	4	3	2	1
9) その他 (具体的に)	5	4	3	2	1

② 上記①以外に、外来管理加算の意義付けの見直しによる経営上(収入面等)の変化があれば、具体的にお書きください。

④ 「外来管理加算」について課題等がございましたら、自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

③ 外来管理加算の意義付けの見直しにより、外来管理加算を算定するためには、患者に対して「懇切丁寧な説明」を行うこと、それは概ね5分を超えることが算定要件となりましたが、「懇切丁寧な説明」としてどうあるのがよいと思いますか。※貴方のお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

<懇切丁寧な説明の項目>

a. 問診	b. 身体診察(視診、聴診、打診及び触診等)
c. 症状・状態についての説明	d. 今後の治療方針についての説明
e. 生活上の注意や指導	f. 処方する薬についての説明
g. 患者の悩みや不安・疑問への対応	

1. すべての項目について、診療の都度、毎回実施するべきである → 質問④へお進みください  
 2. すべての項目について、診療の都度ではなく数か月に1回など、定期的実施するべきである → 質問④へお進みください  
 3. 患者が懇切丁寧な説明を求めた時に、すべての項目について実施するべきである → 質問④へお進みください  
 4. 項目毎に異なる頻度で実施するべきである → 質問③-1へお進みください

③-1 上記③で選択肢「4. 項目毎に異なる頻度で実施するべきである」を選択した方にお伺いします。下記1)~4)について、実施するべき項目にあてはまるもの全てのアルファベット(a~g)に○をつけてください。また、「その他」として実施するべき内容があれば、具体的に記入してください。

	問診	打診及び触診等	身体診察(視診、聴診、説明・状態についての説明)	今後の治療方針についての説明	生活上の注意や指導	説明する薬についての説明	問への対応	患者の悩みや不安・疑問への対応	その他(具体的に)
1) 毎回実施するべき項目	a	b	c	d	e	f	g		
2) 数か月に1回など、定期的実施するべき項目	a	b	c	d	e	f	g		
3) 患者が懇切丁寧な説明を求めた時に実施するべき項目	a	b	c	d	e	f	g		
4) 患者の状態の変化等により、医師が必要と判断した時に実施するべき項目	a	b	c	d	e	f	g		

→ 質問④へお進みください

厚生労働省保険局医療課委託事業「平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」  
**外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査 患者票**

1. あなたご自身についておうかがいします。

① 性別  
 1. 男性                                      2. 女性

② 年齢  
 (                                      )歳

③ 本日診察を受けた診療科  
 ※○は1つだけ  
 ※この用紙を受け取った診療科に○をつけてください。

1. 内科	2. 外科	3. 整形外科
4. 形成外科	5. 脳神経外科	6. 小児科
7. 産婦人科	8. 呼吸器科	9. 消化器科
10. 循環器科	11. 精神科	12. 眼科
13. 耳鼻咽喉科	14. 泌尿器科	15. 皮膚科
16. その他(具体的に)		

④ ③の診療科には、どのようなご病気で診察を受けましたか。(主な病名)

1. 高血圧	2. 糖尿病
3. 高脂血症	4. 風邪・気管支炎
5. ぜんそく	6. 花粉症などのアレルギー疾患
7. 皮膚炎・湿疹	8. 腰痛・膝痛などの関節痛
9. がん	10. 白内障・緑内障
11. その他	

⑤ 現在のご病気(④の回答)で本日診察を受けた診療科(③の回答)に通院している頻度  
 ※○は1つだけ

1. 初めて	2. 週に1回程度
3. 2週間に1回程度	4. 1か月に1回程度
5. 2か月に1回程度	6. 年に数回程度
7. その他(具体的に)	

⑥ 現在のご病気(④のご回答)で、本日診察を受けた診療科(③のご回答)に通院するようになって、どのくらいですか。 ※○は1つだけ

1. 初めて	2. 1か月未満
3. 1か月以上~3か月未満	4. 3か月以上~6か月未満
5. 6か月以上~1年未満	6. 1年以上(おおよそ 年くらい)
7. わからない	
8. その他(具体的に)	



<このページは1年以上、同じ医療機関の同じ診療科に通院した方(質問⑥で「6.1年以上」に○がついた方)におうかがいします。それ以外の方は3ページの2.質問①にお進みください。>

⑦ 担当医師は、1年前と変わりましたが、あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

1. 担当医師は変わらない → 質問①にお進みください。  
2. 担当医師は変わった → 3ページの2. 質問①にお進みください。

⑧ 3月以前と比べて今年4月以降の診療についてどう思いますか。それぞれの質問について、あてはまるものを1つだけ○をつけてください。

(1) 症状・状態についての医師からの質問(問診)や聴診器で聴いたり、点眼するなどの医師の診察(身体診察)

1. 3月以前よりも丁寧(ていねい) 2. 3月以前と変わらず丁寧  
3. 3月以前と変わらず丁寧ではない 4. 3月以前よりも丁寧ではない

(2) 症状・状態についての医師からの説明

1. 3月以前よりもわかりやすい 2. 3月以前と変わらずわかりやすい  
3. 3月以前と変わらずわかりにくい 4. 3月以前よりもわかりにくい

(3) 今後の治療方針・生活上の注意や指導についての医師からの説明

1. 3月以前よりもわかりやすい 2. 3月以前と変わらずわかりやすい  
3. 3月以前と変わらずわかりにくい 4. 3月以前よりもわかりにくい

(4) 処方された薬についての医師からの説明

1. 3月以前よりもわかりやすい 2. 3月以前と変わらずわかりやすい  
3. 3月以前と変わらずわかりにくい 4. 3月以前よりもわかりにくい

(5) あなたの悩みや不安についての相談

1. 3月以前よりも相談に応じてくれる 2. 3月以前と変わらず相談に応じてくれる  
3. 3月以前と変わらず相談に応じてくれない 4. 3月以前よりも相談に応じてくれない

(6) 診察時間(医師が直接診察してくれる時間)

1. 3月以前よりも長くなった 2. 3月以前と変わらない  
3. 3月以前よりも短くなった

(7) 待ち時間(診察までの待ち時間、会計の待ち時間は含みません)

1. 3月以前よりも長くなった 2. 3月以前と変わらない  
3. 3月以前よりも短くなった

107

患者票

⑥ 本日の診察で、医師の説明内容は丁寧でしたか。 ※○は1つだけ

1. とても丁寧だった 2. 丁寧だった  
3. どちらともいえない 4. あまり丁寧ではなかった  
5. まったく丁寧ではなかった 6. その他(具体的に)

⑦ 本日の診察で、医師の説明内容が理解できましたか。 ※○は1つだけ

1. 十分に理解できた 2. だいたい理解できた  
3. あまり理解できなかった 4. まったく理解できなかった  
5. 説明を受けていない  
6. その他(具体的に)

3. 「外来管理加算」についておうかがいします。

外来管理加算とは・・・

2回目以降の診察(「再診」といいます)のときに、医師が問診・身体診察などから計画的な医学管理を行った場合、「外来管理加算」(520円、自己負担はこのうち例えば3割負担の患者の場合、156円となります)が患者に請求できるようになっています。今までは、その提供される医療サービスの内容が患者にとって実感しにくいといった指摘等がありました。そこで、平成20年4月から、この「外来管理加算」の意義付けを見直し、

「医師が問診、身体診察、症状・病状についての説明、今後の治療方針、生活上の注意や指導、処方された薬の説明、悩みや不安への相談等について懇切丁寧(こんせつていねい)に説明を行った場合」に、患者に請求できるものと変更されました。この懇切丁寧な説明に係る時間としておおむね5分といった時間の目安が設けられました。

① こうした懇切丁寧な説明のおおむね5分という時間の目安について、あなたのお考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 時間の目安は必要だ → 質問①-1にお進みください。  
2. 時間の目安は必要でない → 質問②にお進みください。

①-1上記①で「1. 時間の目安は必要だ」を選択した方におうかがいします。懇切丁寧な説明を行う時間として、あなたのお考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 5分より短く 2. 5分くらい 3. 5分より長く

→ 質問②にお進みください。

109

<すべての方におうかがいします。>

2. 本日の診察の状況等についておうかがいします。

① 本日の診察時間\*はおよそ何分でしたか。( )分  
※時間がわからない場合は「1. わからない」に○をつけてください。 →1. わからない

\*診察時間とは・・・診察室に入り、医師から直接、問診や身体診察を受けたり、医師へ質問したり、医師から説明を聞いた後、診察室を出るまでの時間です。待ち時間や会計の時間などは含まれません。

② 本日の診察(①の回答)で、医師から受けた診察内容について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 問診(あなたの症状・状態などについての医師からの質問)  
2. 身体診察(聴診器で聴く、さわって腫れ(はれ)や痛みの程度を確かめるなど、医師が患者の身体に、直接または間接的にふれながら診察する) } 問診・身体診察  
3. 症状・状態についての医師からの説明  
4. 今後の治療方針についての医師からの説明  
5. 生活上の注意や指導(食事や睡眠、運動などについての医師からの説明) } 説明内容  
6. 処方された薬についての医師からの説明  
7. 悩みや不安・相談への医師の対応  
8. その他(具体的に)

③ 本日の診察内容に満足していますか。 ※○は1つだけ

1. とても満足している 2. 満足している  
3. どちらともいえない 4. 不満である  
5. とても不満である

④ 本日の診察時間の長さはどうですか。 ※○は1つだけ

1. 長すぎる 2. 長い 3. ちょうどよい  
4. 短い 5. 短すぎる

⑤ 本日の診察で、医師の問診や身体診察は丁寧(ていねい)でしたか。 ※○は1つだけ

1. とても丁寧だった 2. 丁寧だった  
3. どちらともいえない 4. あまり丁寧ではなかった  
5. まったく丁寧ではなかった 6. その他(具体的に)

108

患者票

② 外来管理加算について、回答欄の番号1.～9.の中から、あなたのお考えに最も近いもの1つに○をつけてください。  
また、2.、4.、6.、8.を選んだ方は、実施してほしい内容を以下の「懇切丁寧な説明の項目」の四角囲みの中から選び、回答欄の( )内のあてはまる文字(A.～キ.)に○をつけてください(○はいくつでも)。

<懇切丁寧な説明の項目>

- A. 問診(あなたの症状・状態などについての医師からの質問)  
I. 身体診察(聴診器で聴く、さわって腫れ(はれ)や痛みの程度を確かめるなど、医師が患者の身体に、直接または間接的にふれながら診察する)  
U. 症状・状態についての医師からの説明  
E. 今後の治療方針についての医師からの説明  
O. 医師からの生活上の注意や指導  
K. 処方された薬についての医師からの説明  
N. 悩みや不安の医師への相談

1. 通院毎にすべての項目を実施してほしい  
2. 通院毎に一部の項目を実施してほしい  
→実施してほしい項目すべてに○(A.、I.、U.、E.、O.、K.、N.)  
3. 数か月に1回など、定期的にすべての項目を実施してほしい  
4. 数か月に1回など、定期的の一部の項目を実施してほしい  
→実施してほしい項目すべてに○(A.、I.、U.、E.、O.、K.、N.)  
5. 症状の変化があったときのみ、すべての項目を実施してほしい  
6. 症状の変化があったときのみ、一部の項目を実施してほしい  
→実施してほしい項目すべてに○(A.、I.、U.、E.、O.、K.、N.)  
7. 自分が求めたときだけ、すべての項目を実施してほしい  
8. 自分が求めたときだけ、一部の項目を実施してほしい  
→実施してほしい項目すべてに○(A.、I.、U.、E.、O.、K.、N.)  
9. その他(具体的に)

③ このような「外来管理加算」(医師の懇切丁寧な説明、診察時間等)という仕組みがあるのをご存知でしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

110

④ その他、外来管理加算（医師の懇切丁寧な説明、診察時間等）について、ご意見がございましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

調査専用の返信用封筒（切手は不要です）にアンケートを入れ、お近くのポストに 12月18日（木）までに投函してください。